PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: 62082558 A

(43) Date of publication of application: 16.04.87

(21) Application number: 60222690 (71) Applicant: CANON ELECTRONICS INC
(22) Date of filing: 08.10.85 (72) Inventor: ARAI KIYOSHI AIZAWA NOBUHIRO

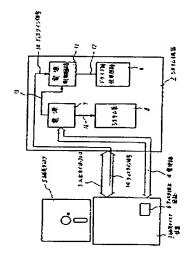
(54) CONTROL SYSTEM FOR MAGNETIC DISK DEVICE

(57) Abstract:

PURPOSE: To reduce the useless power consumption by supplying the power to a limiting circuit set at the side of a system equipment only when a magnetic disk is loaded and having the transfer of signals to a magnetic disk device.

CONSTITUTION: A system 8 consists of only the circuits that work regardless of a magnetic disk device 1. Then a control output 12 is turned on and off via a power supply control circuit 11 using a transistor for a circuit 9 which is used in the drive mode of a magnetic disk 5. When the disk 5 is inserted to the device 1, a disk detecting circuit 6 detects the insertion of the disk 5. Then the produced disk-in signal 14 is supplied to the circuit 11 via an input/ output interface 3.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio



THIS PAGE BLANK (USPTO)

⑲ 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

四公開特許公報(A)

昭62-82558

(9) Int Cl. 4

識別記号

庁内整理番号

每公開 昭和62年(1987) 4月16日

G 11 B 19/00

B - 7326 - 5D

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

❷発明の名称

磁気ディスク装置制御方式

@特 願 昭60-222690

❷出 願 昭60(1985)10月8日

砂発 明 者 砂発明 者

新 井 相沢

激 信度 秩父市大字下影森1248番地 キャノン電子株式会社内 秩父市大字下影森1248番地 キャノン電子株式会社内

①出 頭 人 キヤノン電子株式会社

秩父市大字下影森1248番地

29代 理 人

弁理士 谷 粪 —

細

1. 発明の名称

磁気ディスク装置制御方式

2.特許請求の範囲

磁気ディスクが搭載されるとディスク検知信号 を発生する手段を磁気ディスク装置に設け、設礎 気ディスク装置に接続されるシステム機器には

前記ディスク検知信号発生手段からのディスク 検知信号の有無に応じて電源からの出力をオン・ オフさせる電源制御手段を設け、当該電源制御手 段に前記ディスク検知信号が供給されたときにの み前記システム機器の前記磁気ディスク装置に関 速する部分に前記電源からの出力を供給するよう に制御することを特徴とする磁気ディスク装置制 谢方式。

(以下、余白)

3 . 発明の詳細な説明

〔産菜上の利用分野〕

本発明は磁気ディスク装置制御方式に関し、詳 しくは、磁気ディスク装置からディスク挿程の存 無を信号として受取ることによってコンピュータ システム機器の電源部が制御されるようにした制 御方式に関する。

〔従来の技術〕

磁気ディスク装置を周辺機器として装備した従 来のコンピュータシステム機器においては、一般 に、磁気ディスク装置にディスクが装着されてい なくてもシステム機器を介して磁気ディスク装置 に電源から電気および信号が供給され、無駄な電 力が消費されていた。

(発明が解決しようとする問題点)

本発明の目的は、上述のような欠点を除去し、 磁気ディスク装置におけるディスクの有無によっ てシステム機器の電源供給部を制御し、少なくと も磁気ディスク装置に関連して駆動される回路へ の電源供給がディスクの未使用時には停止される 磁気ディスク装置制御方式を提供することにあ る。

(問題点を解決するための手段)

かかる目的を達成するために、本発明の方式 は、磁気ディスクが搭載されるとディスク検知信 号を発生する手段を磁気ディスク装置に設け、 該 磁気ディスク装置に接続されるシステム機器には

前記ディスク検知信号発生手段からのディスク検知信号の有無に応じて電源からの出力をオン・オフさせる電源制御手段を設け、当該電源制御手段に前記ディスク検知信号が供給されたときに関いまする部分に前記電源からの出力を供給するように制御することを特徴とするものである。

(作用)

本発明の磁気ディスク装置制御方式によれば、 磁気ディスク装置に磁気ディスクが搭載される と、ディスク検出回路からディスクイン信号が入 出力信号線を介してシステム機器に供給され、システム機器の電源制御回路を介してディスクドラ

う) 8 に常時給電されるが、本例では、磁気ディスク装置 1 に関係なく動作する回路のみでシステム系 8 を機成し、磁気ディスク 5 のドライブ時に使用される回路 9 に対しては、例えば第 2 図に示すようにトランジスタ 10を用いた電源制御回路 11を介して、制御出力12がオン・オフされるようにする。13は電源7からの電源出力である。

 イブの時にのみ使用される回路が通電状態となり、磁気ディスクが取出されるとディスクイン信号送出の途絶に同期して、上記の通電が中止され、かくして磁気不使用時に無駄な電力が消費されるのを防止することができる。

(零施例)

以下に、図面に基づき、本発明の実施例を詳細かつ具体的に説明する。

第1回は本発明の一変施例を示し、ここで、1 は磁気ディスク装置であり、データや情報処理である。データや情報処理ディスク装置1とは入出力インターフェース3およびでの設備を表現ではなって設備されている。5は磁気ディスク装置1に潜脱自在となした磁気ディスクであり、6は装置1に磁気ディスクラが挿入されるとこれを検知してディスクイン信号を発生するディスク検出回路である。

7 は電源供給装置であり、この電源7を介して 力 電気が供給され、ここから機器2のシステムを構 成している主要回路(以下ではシステム系とい

第3四(A)に示すように常時電源出力16が供給される。

(発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば、磁気ディスクを搭載しない限り、ディスクドライブ時にのみ駆動されるシステム機器側の限定回路への電源供給がなされず、磁気ディスクを搭載したときに限り、上記限定に電気が供給されて、磁気ディスクを搭載したときに限り、上記限定の間に引きの授受がなされるようにしたので、無駄なの情費が抑制されることによって、システム機器できる。

4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明磁気ディスク装置制御方式による磁気ディスク装置とシステム機器との間の制御機構の概要を示す模式図、

第2図はその電源制御回路の構成の一例を示す 回路図、

第3図は本発明方式に基づいて制御されるシス

N 19

テム系電歌出力、ディスクイン信号出力および制御電歌出力の一例を示す波形図である。

1…磁気ディスク装置、

2…システム機器、

3…入出力インターフェース.

4 … 電源線、

5…磁気ディスク、

6 …ディスク検出回路、

7…電源供給裝置、

8…システム系、

9 …ドライブ時使用回路、

10…トランジスタ、

11…電影制御回路、

12…制御電器出力、

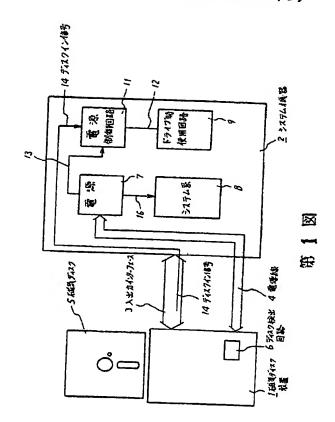
13… 范蒙出力、

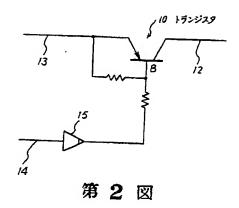
(

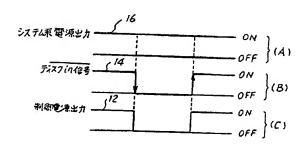
14…ディスクイン信号、

15…インパータ、

16…システム系電源出力。







第 3 図

THIS PAGE BLANK (USPTO)